

第6回リカジョ育成賞 -奨励賞-

テーマ	育て理数好き女子！小中高校生未来博士プロジェクト
受賞者名	鹿児島大学理学部 小山佳一

活動紹介	本活動は、2013年8月に鹿児島大学理学部で開催した、女子高校生理系進路選択支援事業「磁石で音を作ろう！聞こう！」から始まり、2022年で10年目になりました。参加者には、「未来博士号」または「修了証」を授与してきました。男子・女子生徒参加企画や女子児童・生徒と保護者向け企画などを開発して、10年間続けることができました。年を重ねるにつれ、女子小中高生が参加しやすい企画や講座のネーミングなどのノウハウを獲得・蓄積するとともに、学内外の助成金等を基にして活動の企画・講座を増やしてきました。当初は理科実験のみでしたが、県教育委員会や生徒・保護者からの要望で、2021年からはプログラミングとロボット制御の講座も開催しました。 2022年からは、小学生らからの要望が多かったゲームプログラミングの講座も追加、6月から12月までに、小学生対象12講座（内4講座は女子限定）、中高生対象3講座、計15講座、合計募集人員170人、合計小中高校生参加者105人（内女子32人：全体の3割程度）と参加保護者・教員90人の総計195人が本活動に参加しました。離島と本土との教育機会の格差克服も活動に取り入れ、奄美大島の小規模中学校2校（全生徒10名程度）とタイアップし、それぞれの学校で個別に理科教室を開くことにも企画、理科の楽しさと女子の理系進路を伝えてきました。
PRメッセージ	最近に参加リピーター女子生徒もいます。2018年に女子・保護者企画に参加した当時中学女子の1名が、2022年4月に鹿児島大学理学部に入学し、2022年の本企画にアシスタントとして参加しました。今後も本活動はますます楽しくなっていきます！

掲載日：2022年06月30日、面名：県 都 (C)南日本新聞社 集まれリケジョ！鹿大で公開講座 鹿児島市の鹿児島大学理学部で25日、公開講座「育て理数好き女子！」があった。女子の理数系学部への進学を促す狙い。児童と保護者の親子2組が簡単なゲームのプログラミングに挑戦した写真。 講師は同学部の小山佳一教授。参加者はプログラミングソフト「Scratch（スクラッチ）」を使って、ブロック崩しゲームを作った。自宅でもプログラミングをするという日置市永吉小学校6年の藤崎葵さんは「知らなかったことが分かって勉強になった」と話した。 鹿大は今夏、これまで中高生を対 象にしていた科学体験講座の受講者を小学高学年まで広げて開催する予定。小山教授は「小学生のうちから理系分野の楽しさを感じてもらいたい」と話す。理学部ウェブサイト＝https://sci-kagoshima-univ.jp/から申し込む。(岩松マミ) 2022年6月に地元新聞で本活動が紹介されました	2022年の本活動の鹿児島市電中刷り広告（抜粋）
10月に実施した本活動「育て理数好き小学女子！」	本活動記事（奄美・11月）